

南小だより

R3. 6. 7



南風

＜ 令和3年度 第 5 号 ＞

発行：玉村町立南小学校

群馬県佐波郡玉村町角淵5011

電話：0270-65-9000

<http://www.town.tamamura.ed.jp/minami-e/>

## 「米作り」がスタートしました！

5月19日（水）に米作りの第一歩である「粃まき」を5年生が行いました。校区内で農業を営まれている岡部さんのご指導のもと、PTA学級役員さんにもご協力いただきながら、育苗箱に土を敷いて粃をまきました。子どもたちは作業にしっかりと取り組んでいましたね。7月初旬の「田植え」までの間に毎日水やりを行い、休日については保護者の方にもご協力いただきますが、よろしくお願いいたします。



## プール清掃がんばりました！

5月28日（金）の1・2校時に6年生、3・4校時に4年生、5・6校時に5年生がそれぞれプール清掃をしてくれました。2年越しの汚れはなかなか落ちませんでしたが、子どもたちの頑張りで大変きれいになりました。放課後には先生方で仕上げの清掃を実施。先日お知らせしましたが、14日にプール開きを行い、感染症対策を施した上で授業を実施する予定です。ご理解の程、よろしくお願いいたします。



## 学習用パソコン持ち帰りのご協力ありがとうございました！

6月1日（火）に2～6年生は、学級閉鎖や再度の分散登校などの非常時に備えて、各自の学習用パソコンの持ち帰りを実施しました。（1年生用のパソコンは機種が異なるため今回の持ち帰りは見合わせました。）

保護者の皆様には、ご家庭のインターネット（Wi-Fi）への接続設定のご協力をいただき、どうもありがとうございました。今後は学校だけでなく家庭での使用も想定し、活用していきたいと思っております。



# 小学生の勉強時間はどのくらい？勉強を習慣化するおすすめ勉強法！

小学生のお子さんをお持ちの親なら、他の家庭の子供がどのくらい勉強をしているのか気になるのではないのでしょうか。そこで今回は、小学生の勉強についてリサーチしてみました。小学生に必要な勉強時間や、小学生が勉強を習慣化するためにできることとは？また、小学生におすすめの勉強法や家庭学習に役立つ小学生におすすめの教材も紹介したいと思います。これを参考にいただき、お子さんの勉強をうまくサポートしてあげてください。



## 1. 小学生の勉強時間はどれくらい必要なの？

小学生の授業外の平日平均学習時間はどのくらいなのでしょう。「ベネッセ「第5回学習基本調査」データブック[2015]」によると、平均1時間35分ということがわかりました。この学習時間は、2006年に調査を実施したときよりも14分程度増えています。同様の調査から、学習時間のデータが出ています。授業外の平日平均学習時間がもっとも少ない小学生は、「ほとんどしない」と回答。多い小学生は3時間30分以上も学習していたのだそうです。3時間30分もの学習をしているか、していないかでは、学力の差が開くのは言わずもがなですね。

## 2. 目安としたい小学生の勉強時間は「15分×学年数」

小学生の家庭学習時間は「15分×学年数」が目安です。1年生なら15分、6年生なら90分ということになります。少ないように思われるかもしれませんが、学習時間が長いことが、必ずしも子供たちの成績向上につながるわけではないようです。この目安に即して学習するには、「集中して勉強すること」を意識する必要があります。

## 3. 小学生に勉強を教えるときの基本姿勢

勉強をしたがらない子は多いもの。そのようなときは、「今から一緒に勉強しよう！」と、子供に声をかけてみてください。勉強を自主的にさせるのではなく、親と一緒に時間を過ごす、という演出をすると、ほとんどの子供は素直に机に向かいます。そして、「叱らない」が、親子で学習するときの鉄則。横から口出しをしないように見守る姿勢が大切です。

## 4. 親の勉強の教え方

親が子供に勉強を教えるときは、まずは学習しやすい環境づくりを子供といっしょにしましょう。たとえば、子供が集中力を高めて学習できるように、テレビを消したり、机の上を片付けるといったことです。いよいよ子供が勉強する場面になったら、親は学習の様子を見届けるようにします。ここで、あまり横からあれこれ口出ししないでください。子供のやる気を削いでしまいます。子供から「ここがわからない」などと聞かれたときに、教えてあげるようにしてください。そのとき、「なんでわからないの！」と怒ったり、叱ったりしないように。学習が終わったら、「3H(ほめる、はげます、ひろげる)」の声かけをしましょう(下記参照)。そして、テストや学習に関するプリント等は、しっかりとファイルさせ、その後いつでも復習しやすいように整理させるとよいでしょう。

## 5. やる気を出させるためのコツ

子どもをやる気にさせるには、声かけが有効です。保護者は、「3H(ほめる、はげます、ひろげる)」を意識した声かけをしましょう。

- ・ほめる 「すごいね、やったね、○○ちゃん」「こんなに上手に書けるんだね」
- ・はげます 「計算ミスが少なくなってきたね。この調子で毎日続ければもっとよくなるよ」
- ・ひろげる 「たくさんしたことわざを覚えてすごいね。他にどんなことわざがあるか、辞典で調べてみよう」

## 6. 小学生が勉強を習慣化するためにできること

勉強を習慣化することも大切です。習慣化することで、自ら机に向かうようになり、集中力も養うことができます。勉強が習慣化できない理由には、集中力がないこと、毎日勉強できないことがあげられます。習慣化するためには、毎日一定時間、決まった場所で、学習に取り組むようにするのをおすすめします。また、勉強をしたくない理由で考えられるのは、「勉強が難しくなった」と感じたときや、勉強につまずいたときです。ようするに、勉強が「おもしろくない、つまらない」と感じることにあります。そんなときには、つまづいている部分を明らかにし、反復練習をするようにしましょう。少し辛抱がいらしますが、基礎・基本に立ち返り、苦手をクリアすることで、自信がつき、「もっと勉強したい」という気持ちが起こるはずですよ。

【次号へ続く】

(以前の「南小だより」から再掲)